

株式会社ラック

第11回定時株主総会

平成30年6月19日

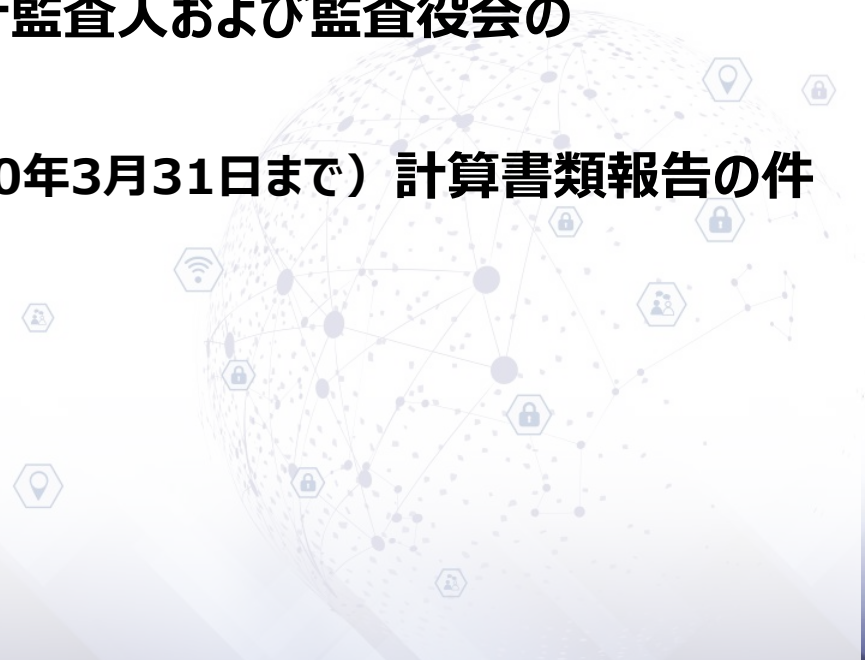


報告事項

1. 第11期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）
事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の
連結計算書類監査結果報告の件
2. 第11期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）計算書類報告の件

決議事項

- 第1号議案 剰余金の処分の件
- 第2号議案 取締役9名選任の件
- 第3号議案 監査役1名選任の件
- 第4号議案 補欠監査役1名選任の件



事業報告

連結計算書類・計算書類



事業の状況



IT投資



着実に増加する傾向

セキュリティ対策



需要伸長

サイバー攻撃

巧妙化

深刻化

十分な対策まで取られているとは言えない状況

中期経営計画『TRY 2021 ステージ 1』 の最終年度

セキュリティを中核とする
事業の強化・拡大

事業構造変革による
強い収益体質の構築

セキュリティ事業強化

- セキュリティ監視センター「JSOC®」の全面リニューアル
- 新たな運用監視サービスを開発



戦略投資を実施

セキュリティ事業強化



**総合的なセキュリティソリューションを提供する
「KDDIデジタルセキュリティ株式会社」設立**
(事業開始日：平成30年4月1日)

セキュリティ人材の増強

キャリア採用キャンペーンの推進

社内の配置転換

人材教育の強化

セキュリティ人材の増強



株式会社アジアリンクの子会社化
(平成30年4月2日)



運用監視サービスの人材強化

システムインテグレーション事業基盤の多様化

政府系金融業向け大型SI案件

プロジェクト推進体制を確立



開発設計工程へと進捗

システムインテグレーション事業基盤の多様化



情報通信業



旅行業



人材派遣業



金融業以外での受注獲得を推進

売上高

セキュリティソリューションサービス事業が
好調に推移

371億9百万円 384億32百万円

前期比

3.6% 

平成29年3月期

平成30年3月期

営業利益

戦略投資の経費増

24億46百万円 22億24百万円

前期比

9.1% 

平成29年3月期

平成30年3月期

経常利益

持分法による投資利益
(1億14百万円)

24億64百万円

23億49百万円

前期比

4.6%



平成29年3月期

平成30年3月期

親会社株主に帰属する当期純利益

のれん減損損失を計上
(△1億58百万円)

14億91百万円

12億52百万円

前期比

16.0%



平成29年3月期

平成30年3月期

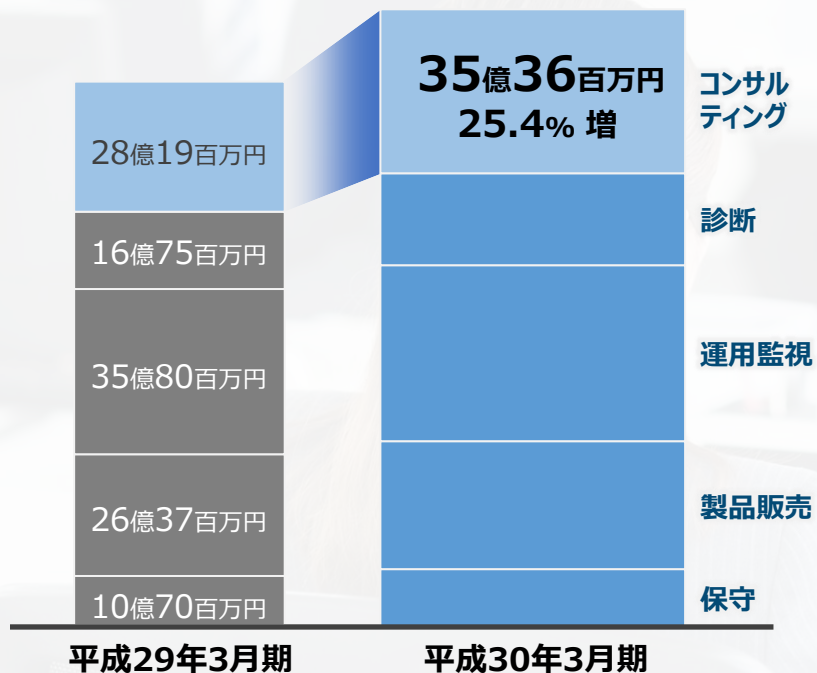
事業別の状況

セキュリティソリューションサービス事業 (SSS事業)



セキュリティコンサルティングサービス

売上高

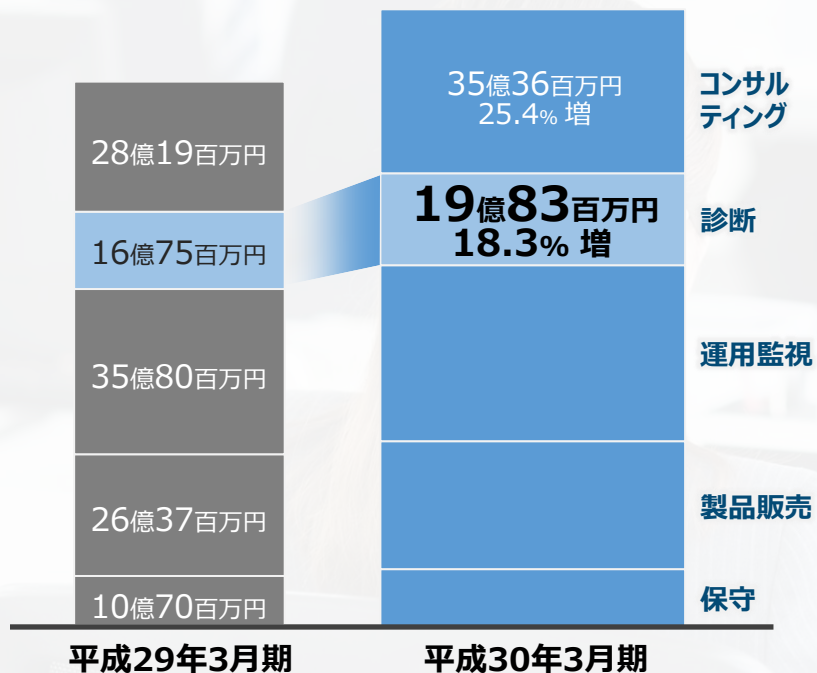


■ 常駐型サービスへの需要が大きく伸長

増収

セキュリティ診断サービス

売上高

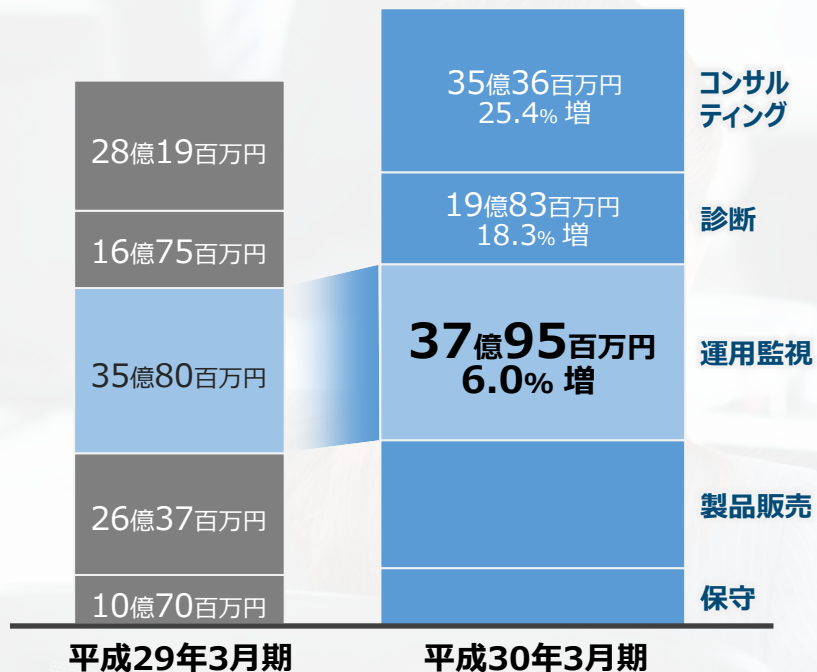


- Webアプリケーション診断やプラットフォーム診断における大型案件
- 顧客ニーズに対応した常駐型案件

増収

セキュリティ運用監視サービス

売上高



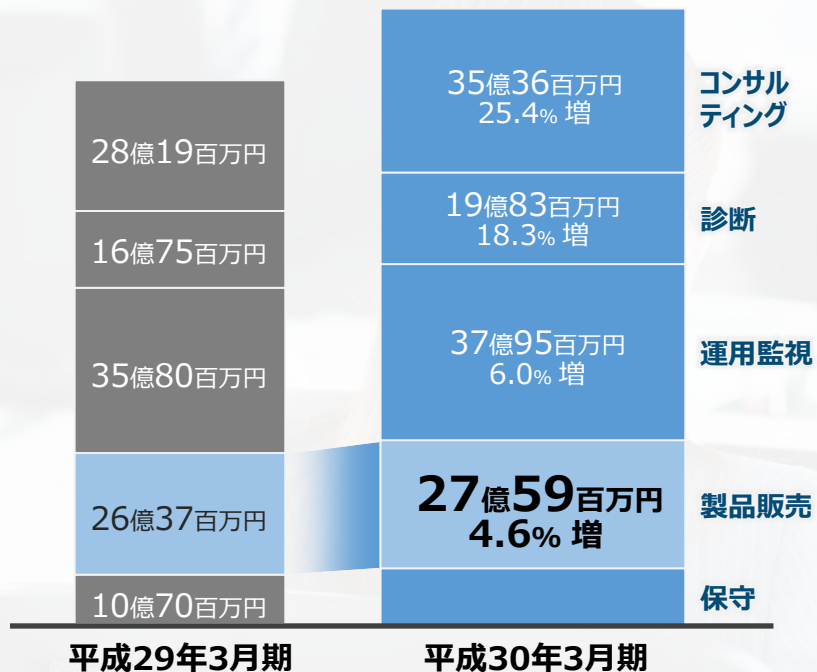
- 一部大手顧客の解約
- 新規案件に加え既存案件の契約更新が堅調
- 第4四半期に開始した大手製造業向け案件も寄与

増収

セキュリティ製品販売

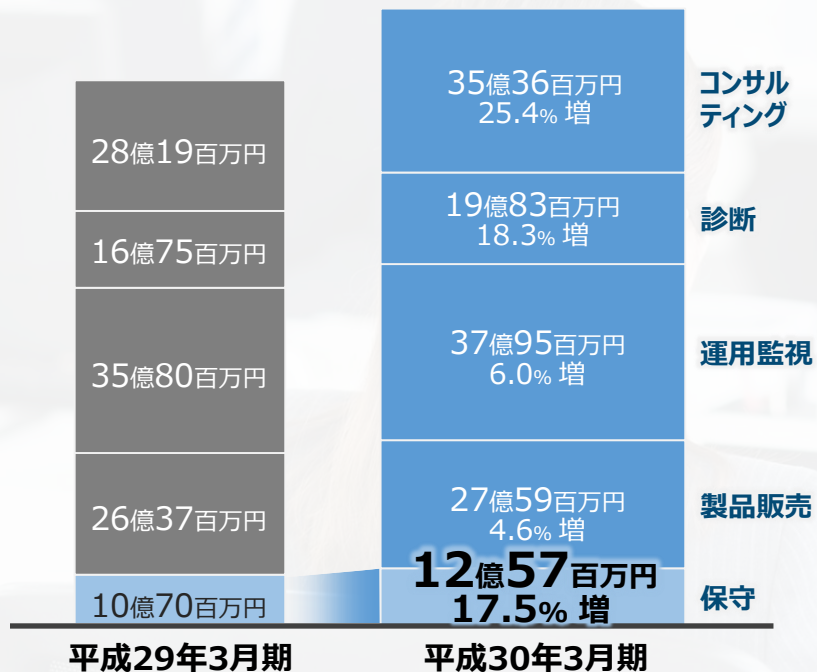
売上高

■ クラウドに対応した
最先端の監視製品の
販売が伸長



セキュリティ保守サービス

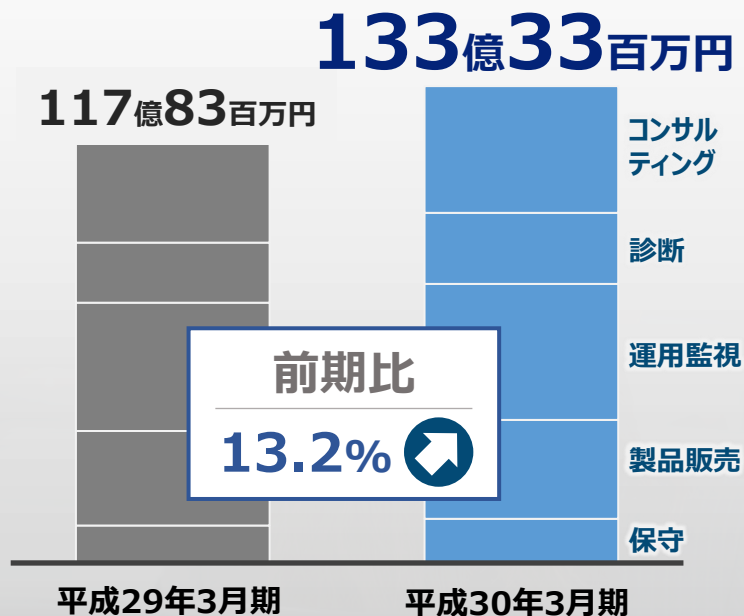
売上高



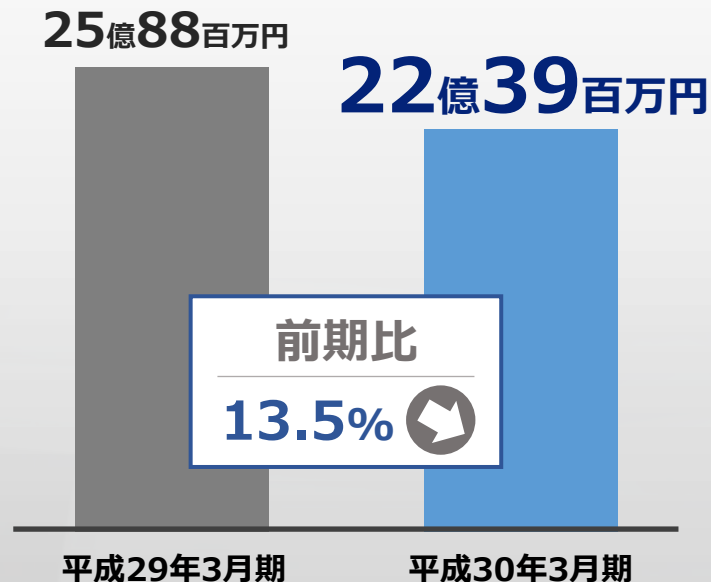
- 既存案件の更新需要
- 新規案件の増加

増収

売上高



セグメント利益



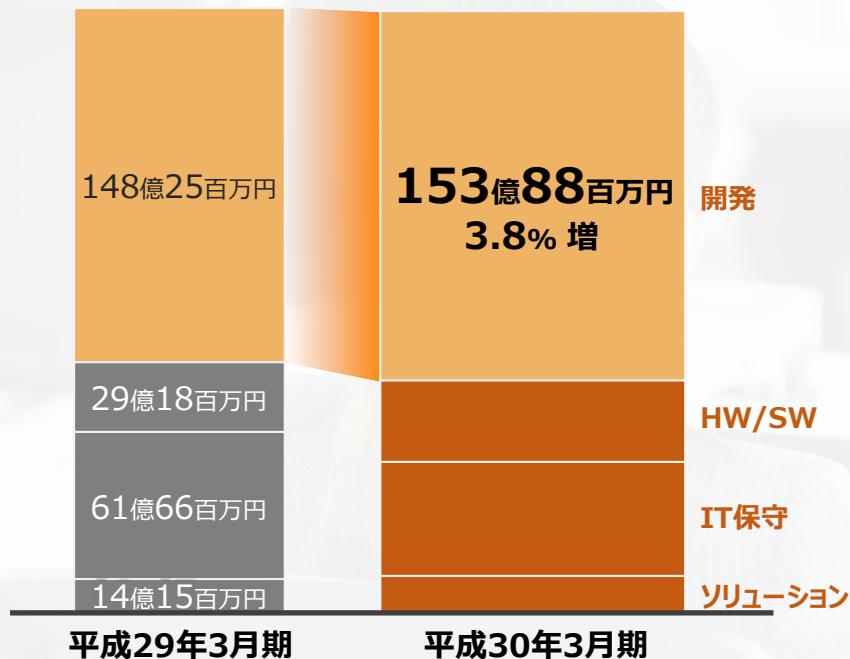
事業別の状況

システムインテグレーションサービス事業 (SIS事業)



開発サービス

売上高



- 金融業向け案件が堅調
- 政府系金融業向けの
新規大型案件が大きく寄与
- 情報通信業や人材派遣業などからの
受注も堅調

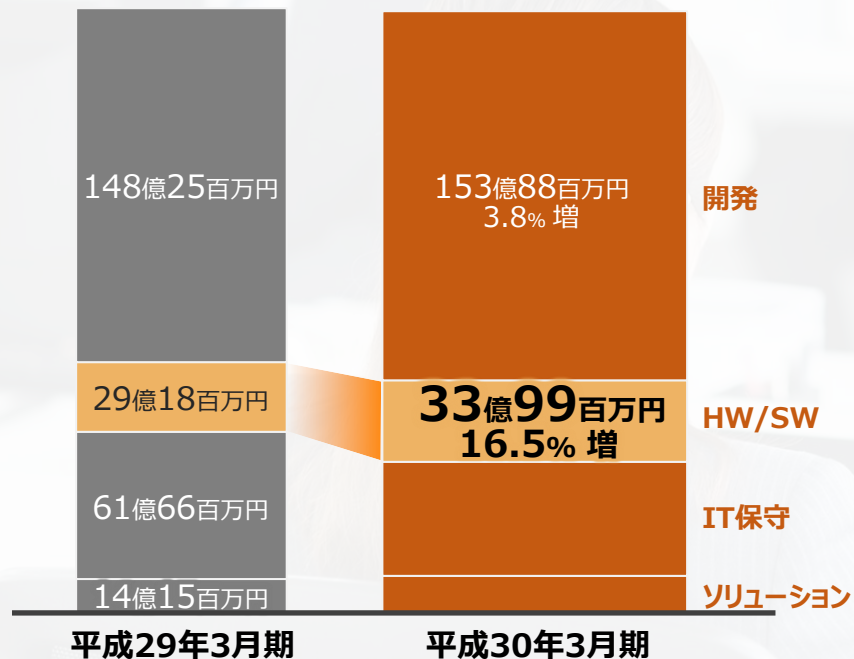
増収

HW／SW販売

売上高

- 需要は縮小傾向
- 大型案件の獲得

増収

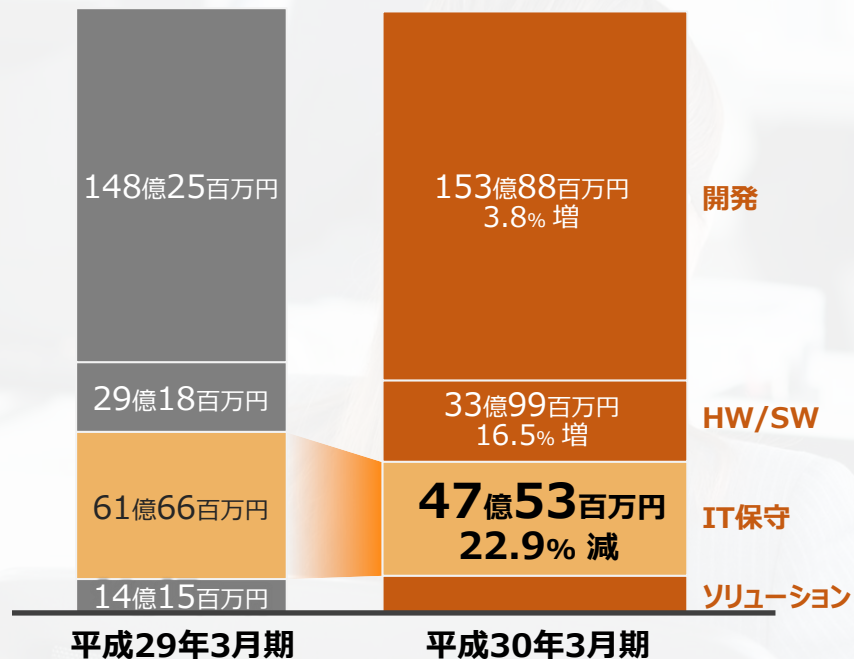


IT保守サービス

売上高

■ 一部機種の保守契約を見直し、
計画通り案件を削減

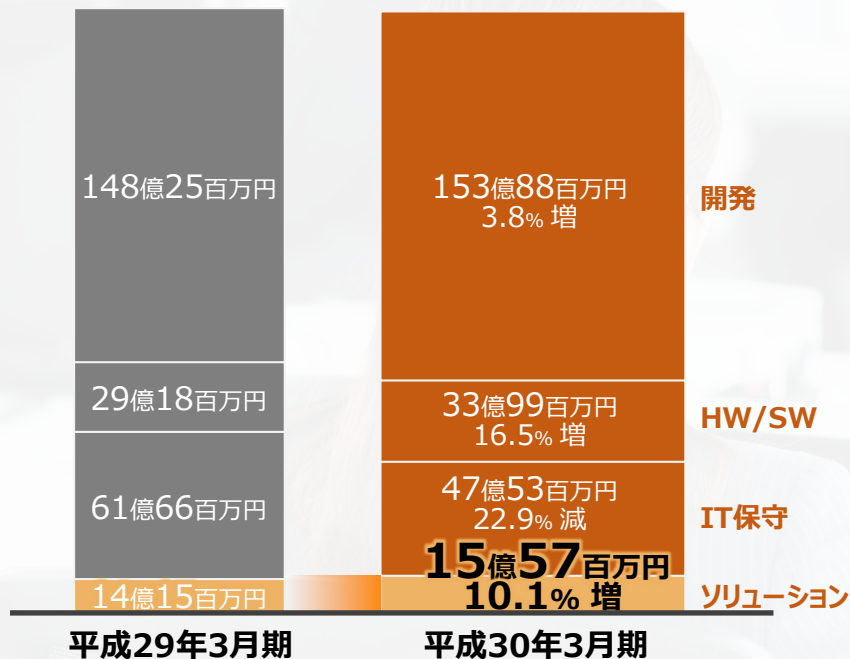
減収



ソリューションサービス

売上高

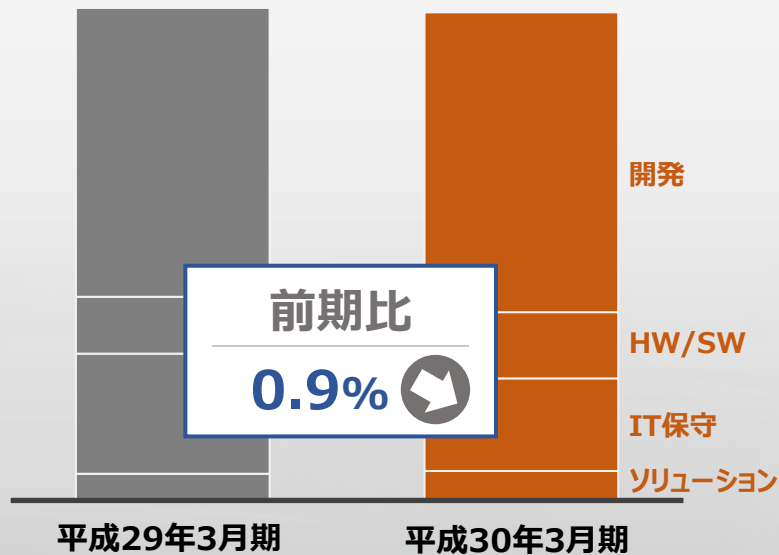
- データセンター関連のサービス伸長
- デジタルマーケティングサービスの売上増も寄与



増収

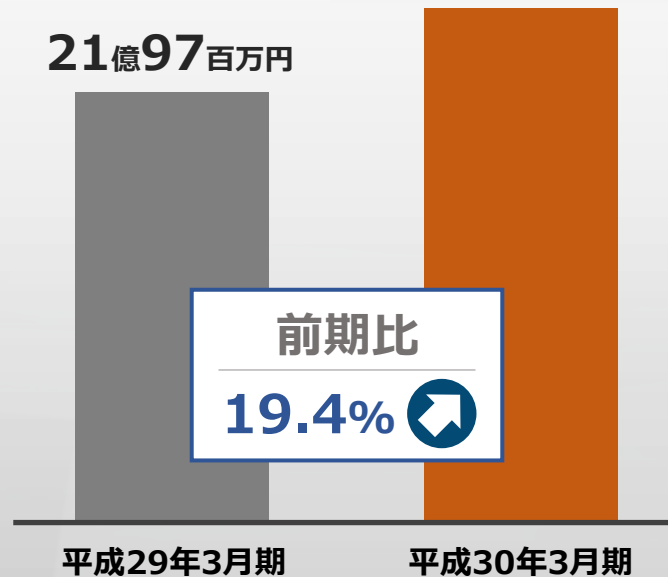
売上高

253億26百万円 **250億99百万円**



セグメント利益

21億97百万円 **26億23百万円**



連結計算書類



資産合計

199億 9百万円

流動資産

147億75百万円

固定資産

51億34百万円

負債合計

純資産合計

資産の部

- 投資有価証券、
前払費用、
仕掛品の増加

前期末比

11億87百万円 増

199億 9百万円

資産合計

199億 9百万円

流動資産

147億75百万円

固定資産

51億34百万円

負債合計

98億17百万円

流動負債 96億24百万円

固定負債 1億93百万円

純資産合計

負債の部

■ 長期借入金増減少

前期末比

7億34百万円 増

98億17百万円

資産合計

199億 9百万円

流動資産

147億75百万円

固定資産

51億34百万円

負債合計

98億17百万円

流動負債 96億24百万円

固定負債 1億93百万円

純資産合計

100億92百万円

純資産の部

■ 利益剰余金の増加

前期末比

4億52百万円 増

100億92百万円

(百万円)

平成29年3月期

平成30年3月期

前期比

売上高

37,109

38,432

3.6%

営業利益

2,446

2,224

△9.1%

経常利益

2,464

2,349

△4.6%

親会社株主に帰属する
当期純利益

1,491

1,252

△16.0%

計算書類

招集ご通知 39ページから40ページ



連結株主資本等変動計算書
連結注記表
株主資本等変動計算書
個別注記表





中期経営計画

『TRY 2021 ステージ 2』

Little
eArth
Corporation



株式会社 ラック



中期経営計画

『TRY 2021 ステージ 2』



1. 『TRY 2021 ステージ 1』 振り返り
2. 『TRY 2021 ステージ 2』
3. 株主還元

1. 『TRY 2021 ステージ 1』 振り返り

新事業への挑戦や基盤強化、セキュリティ事業の更なる強化に取り組む

【2016年3月期～】

M&A・新事業による成長、全社体制強化

【2018年3月期～】

セキュリティを軸とした成長へ

新事業への挑戦

- ・ ネットエージェント子会社化
セキュリティ製品開発
- ・ Dynatrace事業開始
アプリケーションパフォーマンス管理
- ・ ジャパン・カレント設立
デジタルマーケティング

経営基盤強化

- ・ 管理部門の人員拡充による機能強化
(経営、法務、人事など)
- ・ 技術者給与アップ等の処遇改善

セキュリティ事業の更なる強化

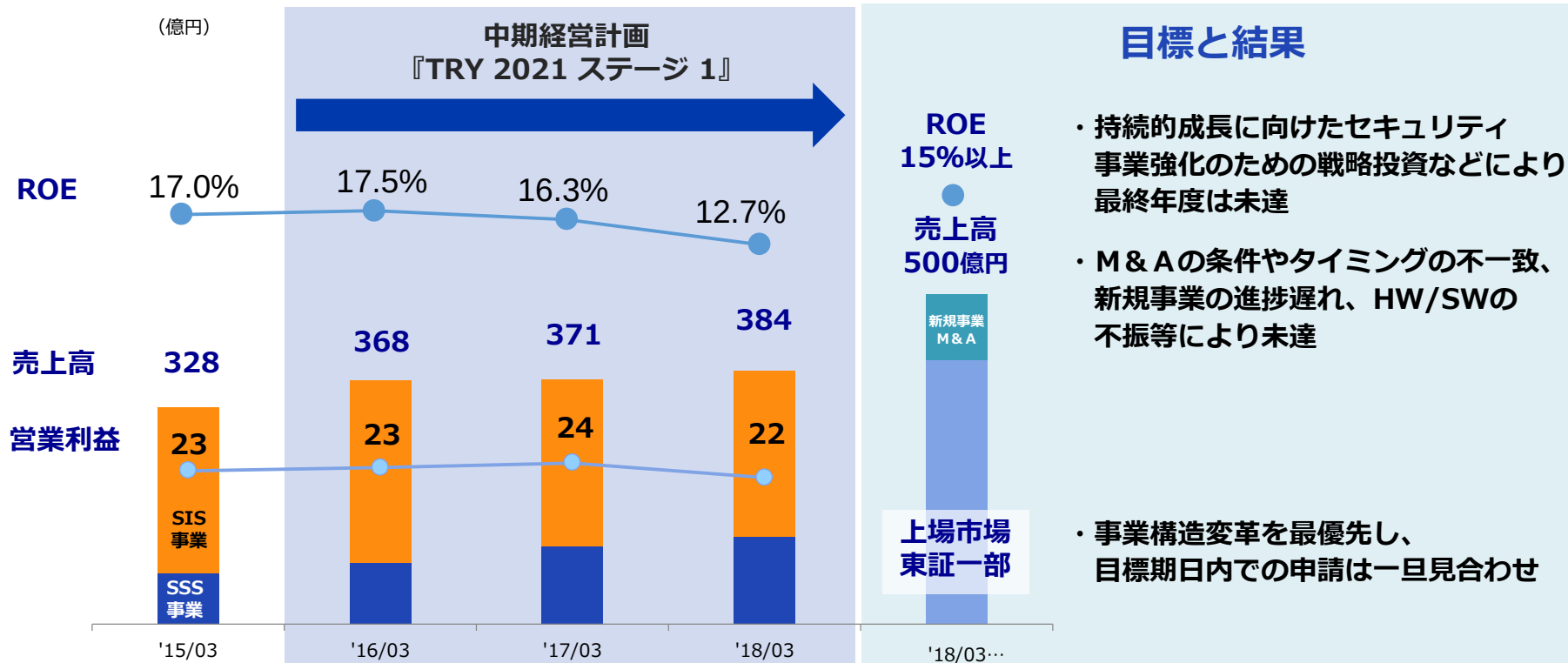
M&Aの推進

- ・ アジアンリンク子会社化
監視センター要員などセキュリティ人員確保※
- ・ KDDIデジタルセキュリティ設立
KDDIグループ・顧客向けセキュリティビジネス拡大

事業基盤強化

- ・ セキュリティ監視サービスの強化・拡充
中部地域の大手製造グループ企業向けサービス開始
クラウド対応など新サービス開発
監視センター「JSOC」のリニューアル
- ・ セキュリティ人材の確保
507名(2017年3月末) → 558名(2018年3月末)
→ 829名(2018年4月2日時点：※上記アジアンリンク社員を含む)

セキュリティを軸とした事業強化、構造変革を優先



2. 『TRY 2021 ステージ 2』

先端テクノロジーがもたらす社会変革 (米国と中国が牽引)

日本はITによる社会変革で大きく出遅れている



解決・実現手段はITによる変革

RPA※

IoT

AI

Cloud

※ロボティック・プロセス・オートメーション

サイバー空間と現実社会が密接に関わる世界

社会基盤そのものを機能不全にする
サイバー攻撃への対応に注目



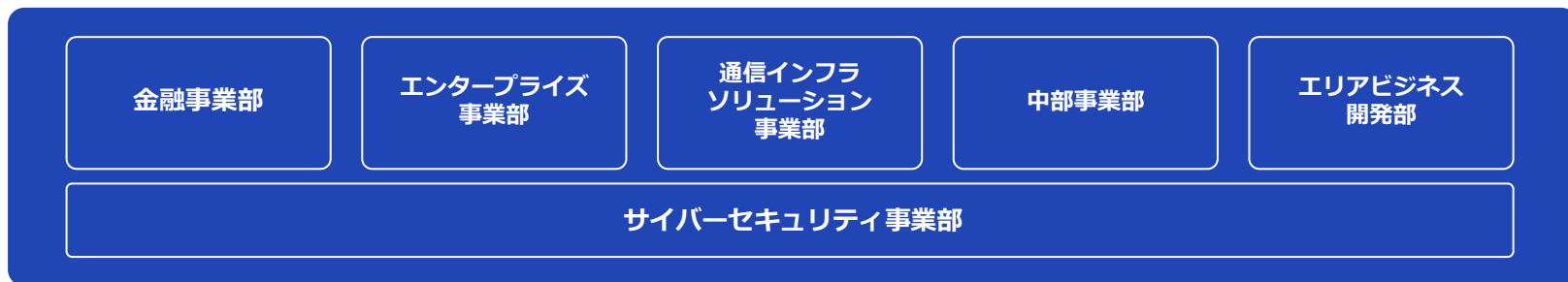
サイバーセキュリティ分野への
参入企業が増え、競争激化

マーケット環境に適応するため、**当社の強みを活かしたビジネスモデル変革**が必要

セキュリティを切り口とした価値創造型のビジネスの推進



製販一体で対応する事業部制へ移行（ラック 2018年4月1日～）



4つの基本方針



**1. お客様のビジネスをプロとして
支える真のパートナーへ**



**2. 競争力のある独自のサービスを
市場に広く展開**



3. 環境変化を好機と捉え成長に挑戦



4. 人の集まる魅力的なグループへ



4つの基本方針：

1. お客様のビジネスをプロとして支える真のパートナーへ

より直接的にお客様のビジネス成長に寄与できる力をつける



業界特性を重視

事業部制の導入

パートナーシップ強化

KDDIデジタルセキュリティ社の事業開始
中部事業部を中心とした大手メーカーグループ向け事業の拡大



4つの基本方針：

2. 競争力のある独自サービスを市場に広く展開

自社の強みを最大限活かした独自サービスを、市場に積極的に打ち出し広く展開する



メニューの充実

拡販可能なサービスの開発
既存サービスのパッケージ化

サービス認知度の向上

マーケティング専門組織の編制
マーケティング基盤の強化



4つの基本方針：

3. 環境変化を好機と捉え、成長に挑戦

環境変化を「成長のきっかけ」と捉え、変革へ挑戦する

ラックグループをとりまくさまざまな環境変化



テクノロジーによる
破壊的環境変化



労働人口減



競争激化



セキュリティ対策
ニーズの一巡

業務変革による生産性向上

RPAやAIによる自動化、社内IT環境改善

新たな市場の開拓

中堅・中小企業、海外市場の開拓

新規事業の創出

ラックグループの総合力を活かしたオープンイノベーションの活性化



4つの基本方針：

4. 人の集まる魅力的なグループへ

成長を続け、人材、取引先、投資家など、
あらゆる人々が集まる魅力的な企業グループを目指す



働き方改革
業務変革



顧客、パートナー
満足度調査と向上施策



社内外コミュニケー
ション活動の活性化



セキュリティ啓発活動
産官学連携 etc.



売上高 460億円、経常利益 30億円、ROE 15%以上

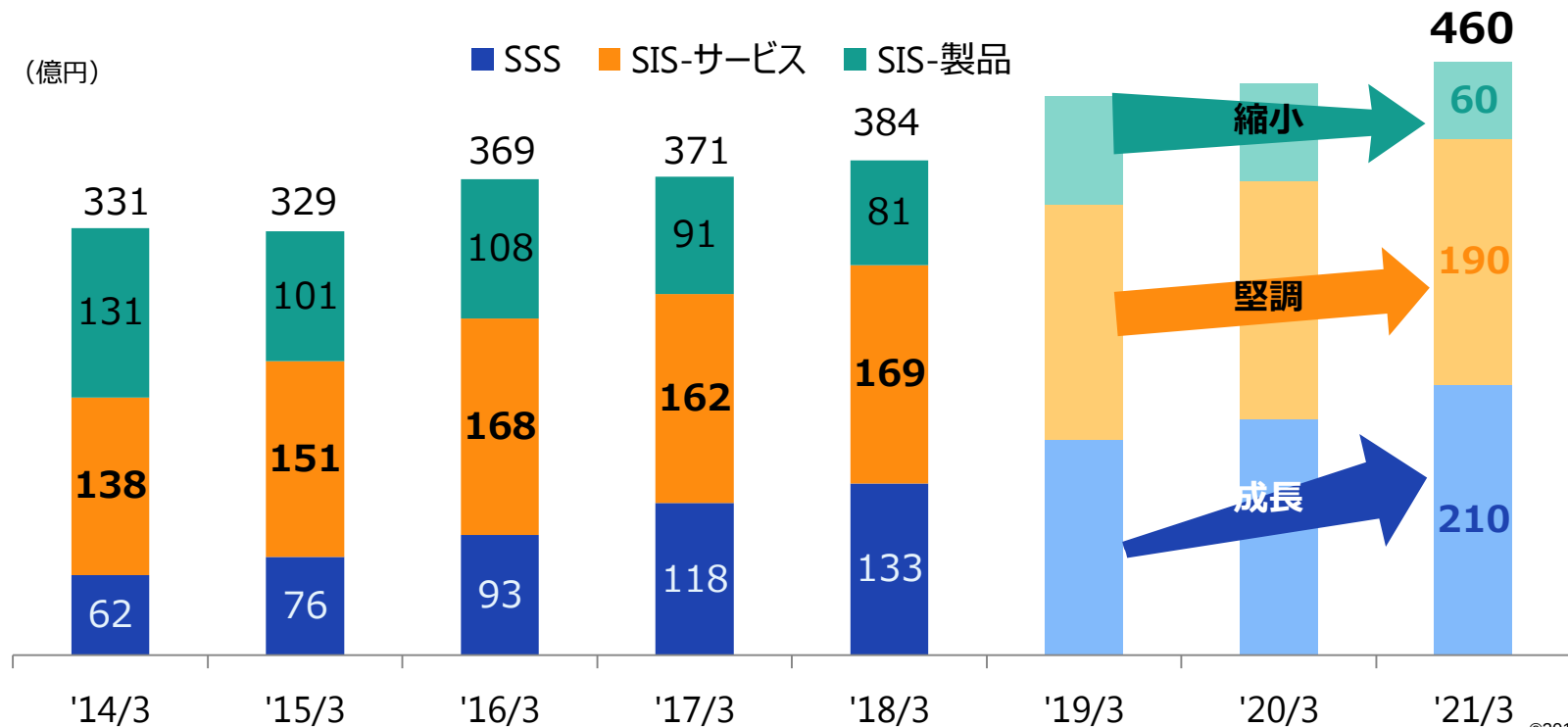
～ グループ会社による持分法利益の拡大 ～

(億円)

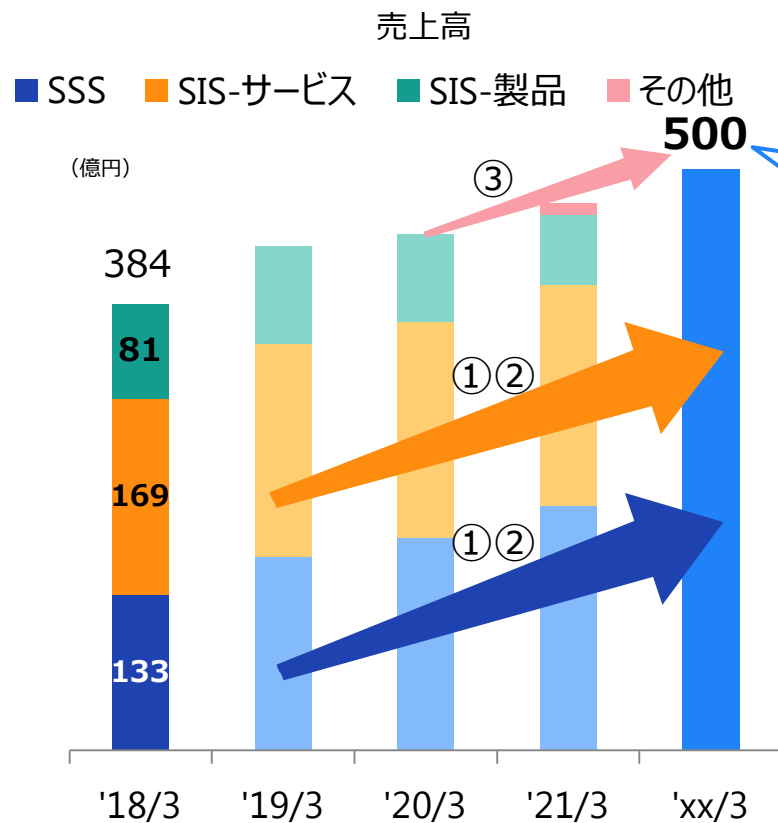
科目	'18年3月期 通期実績	'21年3月期 中期経営計画	増減	
			差異	率
売上高	384	460	+76	20%
営業利益	22	29	+ 7	31%
営業利益率	5.8%	6.3%	+0.5pt	-
経常利益	23	30	+ 7	28%
経常利益率	6.1%	6.5%	+0.4pt	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	12	20	+ 8	60%
自己資本当期純利益率 (ROE)	12.7%	15%以上	+2.3pt以上	-

売上高推移と今後の予測

SSS事業は今後も伸長する一方、SIS事業における製品の縮小傾向が続き、売上高成長を阻む要因となると予測



さらなる成長へ向けて



目指すマイルストーン

- ・ 売上高 500億円
- ・ 東京証券取引所 本則市場一部



名実ともに社会に認められ
必要とされ続ける企業になる

① 規模/体制拡大

東京オリンピック/パラリンピック後の需要動向も見据えた
体制構築

② 事業の更なる成長

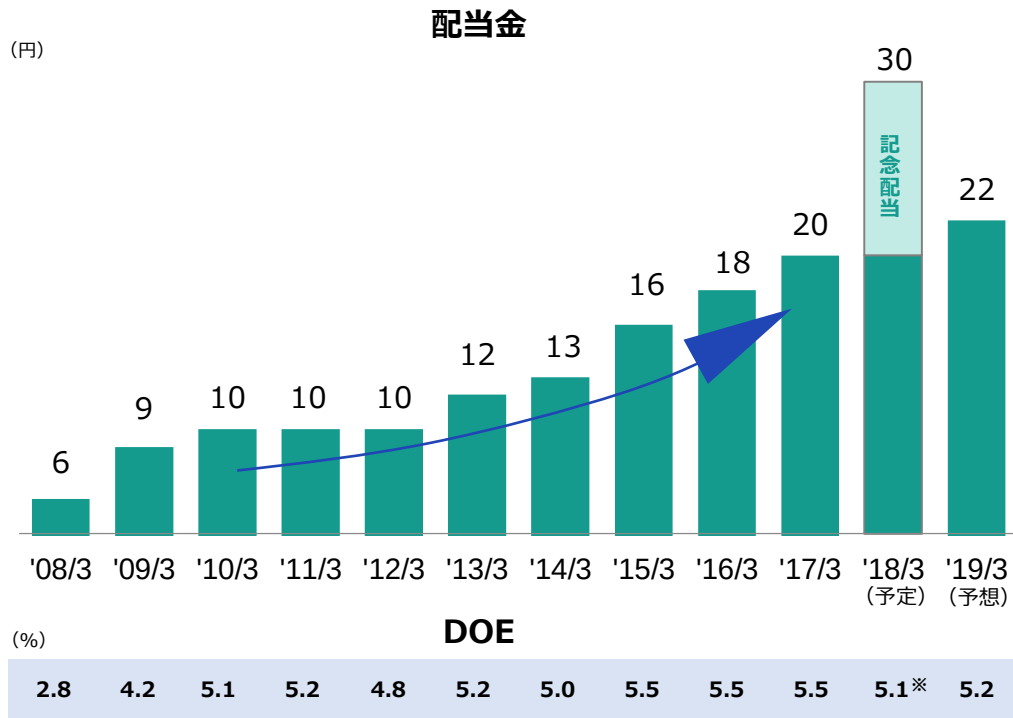
対象市場の拡大、パートナーシップ展開

③ 新規事業へのチャレンジ

研究成果の市場展開、ベンチャー企業との協業、AI等の先
端テクノロジーを実装する次世代インテグレーター、etc

3. 株主還元

長期的かつ安定的に保有いただくことを目的に、継続的に安定した配当水準を維持



※記念配当を除く



利益の積み増しにより配当額を増加



ともに、イキル

決議事項

招集ご通知 6ページから15ページ

第1号議案 剰余金の処分の件

招集ご通知 6ページ

1 配当財産の種類

金銭

2 配当財産の割当てに関する事項およびその総額

当社普通株式 1 株につき金11円
総額284,342,960円

3 剰余金の配当が効力を生じる日

平成30年6月20日

第2号議案 取締役9名選任の件

招集ご通知 7ページから13ページ

取締役候補者

たか なし てる ひこ
高梨 輝彦

にし もと いつ ろう
西本 逸郎

はなぶさ ひで あき
英 秀明

さい とう おさむ
齋藤 理

こ ばやし よし あき
小林 義明

み き とし あき
三木 俊明

かわ もと なる ひこ
川本 成彦

にし かわ てつ や
西川 徹矢

むら い じゅん
村井 純

第3号議案 監査役1名選任の件

招集ご通知 14ページ



監査役候補者

い とう のぶ ひろ
伊藤 信博



第4号議案 補欠監査役1名選任の件

招集ご通知 15ページ

補欠監査役候補者

いし はら やす と
石原 康人





ともに、イキル